

2016 年度前期
「授業改善のための学生アンケート」 結果報告書

白百合女子大学

目 次

1. 2016 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的	1
② 実施概要	1
③ 実施方法	1
④ 設定項目	2
⑤ アンケート用紙	3
⑥ 実施科目数	3

2. 2016 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 集計結果

① 学部	4
② 大学院	9

3. 2016 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 みなさんの声に応えて

① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ	14
② F D 推進委員会からのメッセージ	19

1. 2016 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的

- 1) さまざまな角度から学生の反応・実態を知ること、個々の授業の授業内容・教授方法等を、教員自身が見直し改善するための材料を提供する。あくまで教員の自発的な取り組みを助けるものであり、いかなる形においても、教員の評価・査定の資料とするものではない。
- 2) 設備や機材、資料など、学習に適した環境を大学がどの程度提供できているかを測定し、これを改善していくための材料を得る。
- 3) 学生が学びたい内容を適切なレベルできちんと教授できているかを知り、大学全体、あるいは学科や学年ごとのカリキュラム内容を、必要に応じて改善していくための材料を得る。
- 4) 科目に対する学生の意欲や、授業時間外での学習の実態を把握することで、カリキュラムが想定している努力を学生が傾けているかを測定し、必要に応じて改善の方法を探るための材料を得る。
- 5) 学生に対して、自らの学習のあり方を見直し、大学での学習をより実りあるものとするための材料を提供する。

② 実施概要

実 施 期 間：2016 年 7 月 15 日（金）～8 月 4 日（木）

実 施 対 象：原則としてすべての前期科目

※ただし、履修人数が 5 名以下の授業や、授業形態から考えて調査実施が困難な授業などについては、担当教員の申出により、調査対象科目から除外する。

調 査 方 式：無記名式マークシート、自由記述欄あり（p.3 参照）

※学部・大学院統一フォーム

調査所要時間：約 15 分

③ 実施方法

- 1) 授業開始前に、授業担当教員は教務課でアンケート用紙の入った封筒を受け取る。
- 2) 授業終了の 15 分前を目安に、履修学生にアンケート用紙を配布する。
- 3) 任意で設定できる質問項目欄を使用する場合、あらかじめ用意してきた「学生に答えてほしい質問内容」を、口頭あるいは板書で学生に周知する。
- 4) 授業担当教員は、学生に対し実施目的をよく読み、回答を行うように指示する。
- 5) 学生がアンケートを記入している間は、授業担当教員は机間巡視等、必要以上に教室内を移動することで学生の記入の妨げにならないよう注意する。

- 6) 授業担当教員は、受講人数に応じた数の回収担当学生を指名し、終了時刻と同時にアンケート用紙を回収させ、所定の袋に入れ封をするよう指示をする。
- 7) 授業終了後、授業担当教員または回収担当学生は教務課にアンケート用紙を回収した厳封済みの袋を提出する。

④ 設問項目

- Q1 この授業にどの程度出席しましたか。
- Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。
- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できたか。
- Q5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。
- Q5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)
- Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったか。
- Q9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。
- Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたか。
- Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたか。
- Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。
- Q14 この授業の進度は適切でしたか。
- Q15 この授業の難易度は適切でしたか。
- Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。
- Q17 教室の設備は適切でしたか。
- Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。
- Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。
- Q20 この授業について、良かった点、改善してほしい点などを自由に記述してください。
- Q21 この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。
- Q22 (教員より指示があった場合のみ記述してください)
- Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。

Q23② (Q23①で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述してください。

[illegible]

		読むとき 読むとき 読むとき	たのしみ たのしみ たのしみ	よく よく よく	どうなる どうなる どうなる	どうなる どうなる どうなる	どうなる どうなる どうなる
Q14	この授業の進め方は面白いですか。	1	2	3	4	5	6
Q15	この授業の進め方は面白いですか。	1	2	3	4	5	6
Q16	1学期後半に集めたこの授業の進め方は面白いですか。	1	2	3	4	5	6
Q17	先生の授業は面白いですか。	1	2	3	4	5	6
Q18	必要な資料は研究家・図書館などに頼られていましたか。	1	2	3	4	5	6
Q19	最終にこの1学期を振り返ります。この授業を学んだことが役に立っていますか。	1	2	3	4	5	6
Q20	この授業について、良かった点、改善してほしい点などを、自由に記入してください。						
Q21	この授業を通して、あなた自身が学んだこと、気づいていることなどを、自由に記入してください。						
Q22	「数日より長い時間」に場合のみ記入してください						
Q23	この授業を通して学んだこと、気づいていることなどを、自由に記入してください。						
Q24	この授業を通して学んだこと、気づいていることなどを、自由に記入してください。						
Q25	この授業を通して学んだこと、気づいていることなどを、自由に記入してください。						

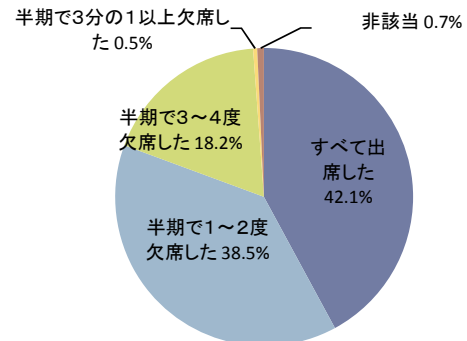
454 科目 (学部 445 科目、大学院 9 科目)

2. 2016年度前期「授業改善のための学生アンケート」の集計結果

① 学部

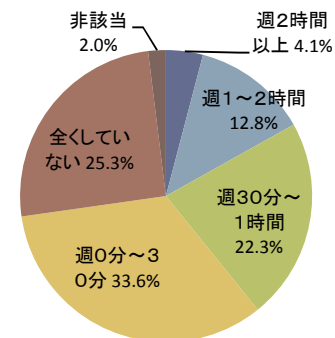
Q 1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	4,491	42.1%
2	半期で1～2度欠席した	4,109	38.5%
3	半期で3～4度欠席した	1,937	18.2%
4	半期で3分の1以上欠席した	50	0.5%
5	非該当	77	0.7%
	合計	10,664	



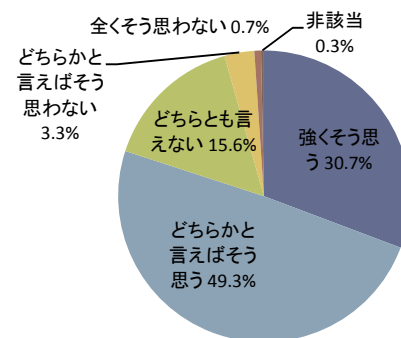
Q 2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	435	4.1%
2	週1～2時間	1,366	12.8%
3	週30分～1時間	2,379	22.3%
4	週0分～30分	3,578	33.6%
5	全くしていない	2,695	25.3%
6	非該当	211	2.0%
	合計	10,664	



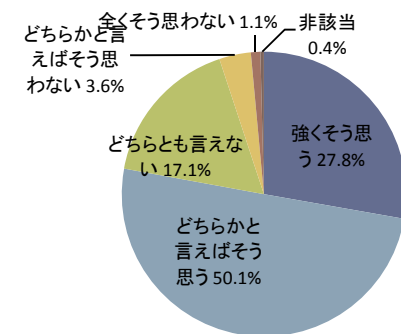
Q 3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,279	30.7%
2	どちらかと言えばそう思う	5,254	49.3%
3	どちらとも言えない	1,665	15.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	351	3.3%
5	全くそう思わない	78	0.7%
6	非該当	37	0.3%
	合計	10,664	



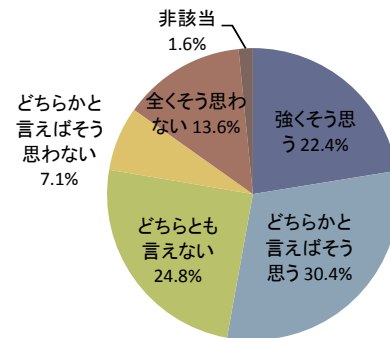
Q 4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,961	27.8%
2	どちらかと言えばそう思う	5,344	50.1%
3	どちらとも言えない	1,819	17.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	380	3.6%
5	全くそう思わない	115	1.1%
6	非該当	45	0.4%
	合計	10,664	



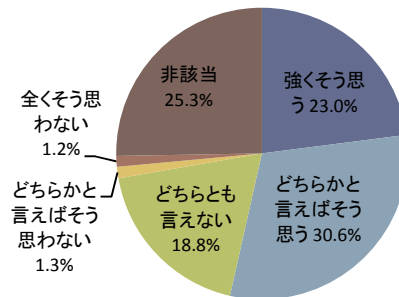
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,390	22.4%
2	どちらかと言えばそう思う	3,247	30.4%
3	どちらとも言えない	2,648	24.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	760	7.1%
5	全くそう思わない	1,450	13.6%
6	非該当	169	1.6%
	合計	10,664	



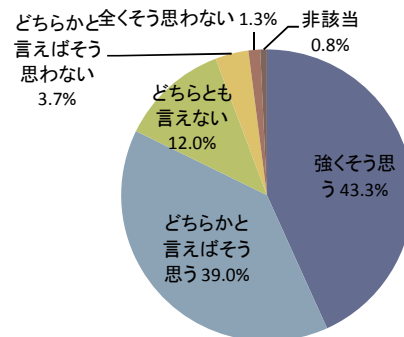
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,448	23.0%
2	どちらかと言えばそう思う	3,260	30.6%
3	どちらとも言えない	2,000	18.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	135	1.3%
5	全くそう思わない	127	1.2%
6	非該当	2,694	25.3%
	合計	10,664	



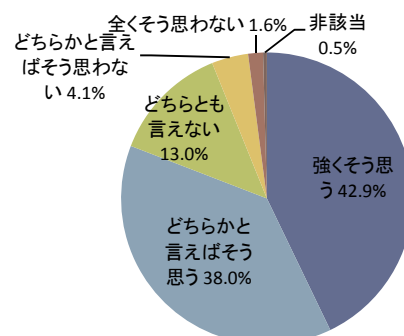
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,613	43.3%
2	どちらかと言えばそう思う	4,156	39.0%
3	どちらとも言えない	1,284	12.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	391	3.7%
5	全くそう思わない	139	1.3%
6	非該当	81	0.8%
	合計	10,664	



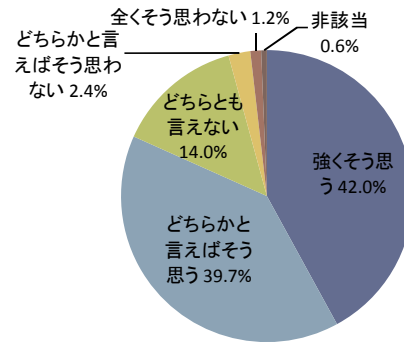
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,572	42.9%
2	どちらかと言えばそう思う	4,050	38.0%
3	どちらとも言えない	1,387	13.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	434	4.1%
5	全くそう思わない	173	1.6%
6	非該当	48	0.5%
	合計	10,664	



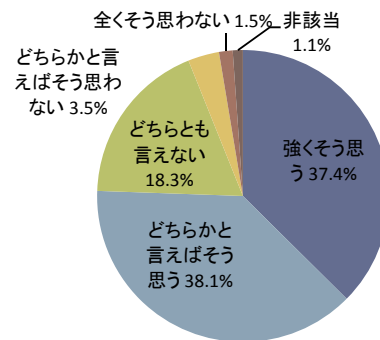
Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	4,482	42.0%
2	どちらかと言えば思う	4,231	39.7%
3	どちらとも言えない	1,497	14.0%
4	どちらかと言えば思わない	259	2.4%
5	全く思わない	127	1.2%
6	非該当	68	0.6%
	合計	10,664	



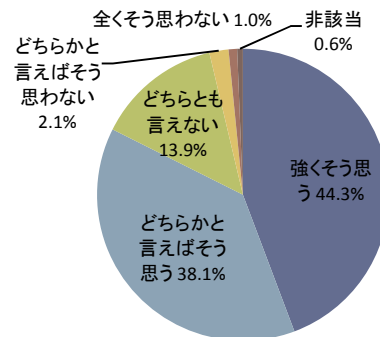
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	3,992	37.4%
2	どちらかと言えば思う	4,067	38.1%
3	どちらとも言えない	1,954	18.3%
4	どちらかと言えば思わない	368	3.5%
5	全く思わない	162	1.5%
6	非該当	121	1.1%
	合計	10,664	



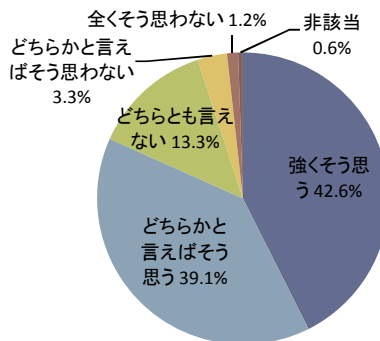
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	4,723	44.3%
2	どちらかと言えば思う	4,064	38.1%
3	どちらとも言えない	1,480	13.9%
4	どちらかと言えば思わない	226	2.1%
5	全く思わない	102	1.0%
6	非該当	69	0.6%
	合計	10,664	



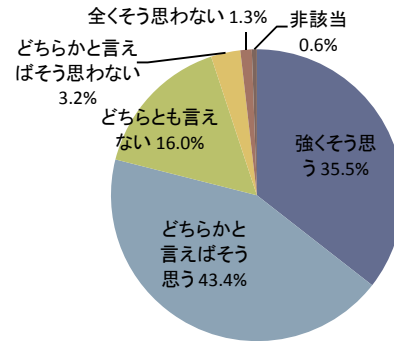
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	4,544	42.6%
2	どちらかと言えば思う	4,166	39.1%
3	どちらとも言えない	1,417	13.3%
4	どちらかと言えば思わない	349	3.3%
5	全く思わない	129	1.2%
6	非該当	59	0.6%
	合計	10,664	



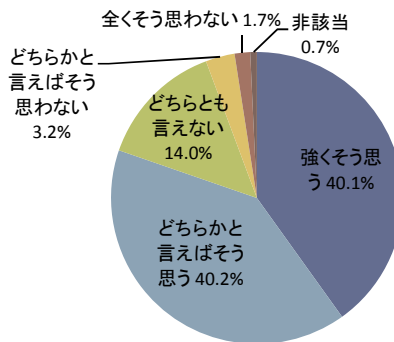
Q 1 2 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	3,791	35.5%
2	どちらかと言えば思う	4,628	43.4%
3	どちらとも言えない	1,703	16.0%
4	どちらかと言えば思わない	345	3.2%
5	全くそう思わない	134	1.3%
6	非該当	63	0.6%
	合計	10,664	



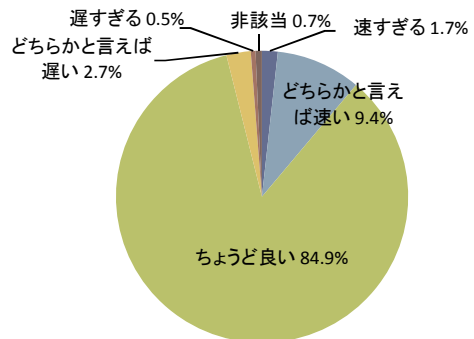
Q 1 3 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	4,277	40.1%
2	どちらかと言えば思う	4,284	40.2%
3	どちらとも言えない	1,496	14.0%
4	どちらかと言えば思わない	344	3.2%
5	全くそう思わない	184	1.7%
6	非該当	79	0.7%
	合計	10,664	



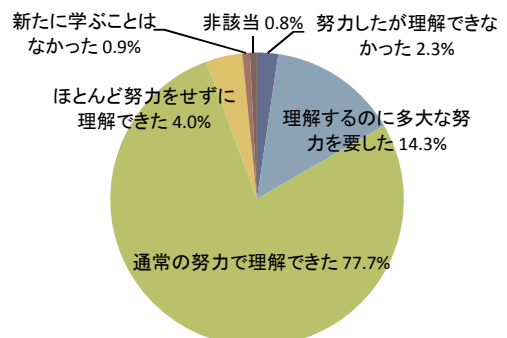
Q 1 4 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	184	1.7%
2	どちらかと言えば速い	1,002	9.4%
3	ちょうど良い	9,057	84.9%
4	どちらかと言えば遅い	290	2.7%
5	遅すぎる	55	0.5%
6	非該当	76	0.7%
	合計	10,664	



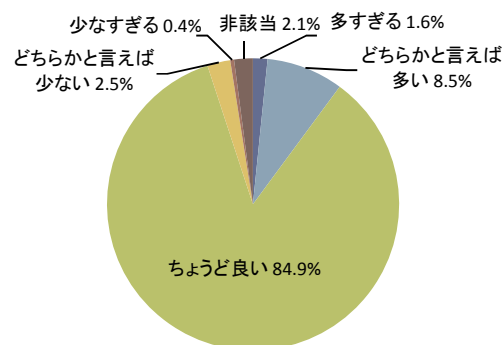
Q 1 5 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	努力したが理解できなかった	247	2.3%
2	理解するのに多大な努力を要した	1,525	14.3%
3	通常の努力で理解できた	8,291	77.7%
4	ほとんど努力をせずに理解できた	427	4.0%
5	新たに学ぶことはなかった	91	0.9%
6	非該当	83	0.8%
	合計	10,664	



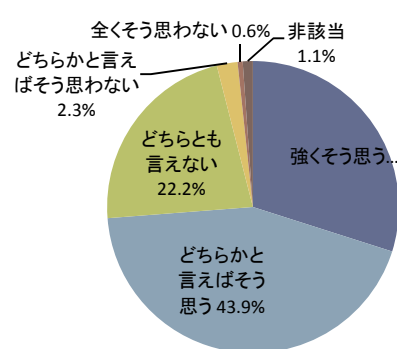
Q 1 6 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	169	1.6%
2	どちらかと言えば多い	908	8.5%
3	ちょうど良い	9,049	84.9%
4	どちらかと言えば少ない	270	2.5%
5	少なすぎる	46	0.4%
6	非該当	222	2.1%
	合計	10,664	



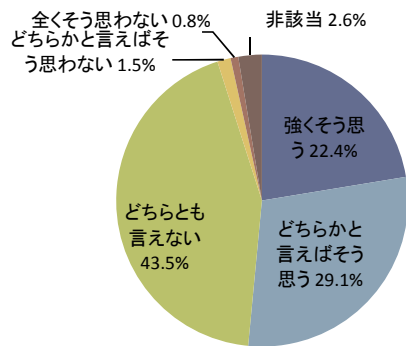
Q 1 7 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,192	29.9%
2	どちらかと言えばそう思う	4,677	43.9%
3	どちらとも言えない	2,368	22.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	246	2.3%
5	全くそう思わない	60	0.6%
6	非該当	121	1.1%
	合計	10,664	



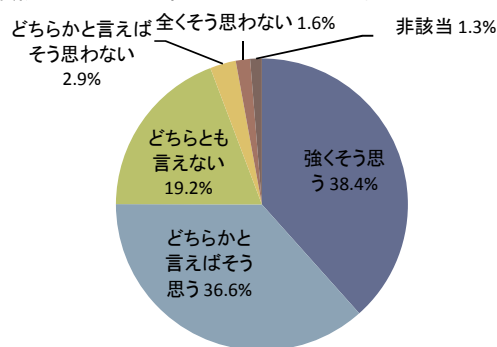
Q 1 8 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,387	22.4%
2	どちらかと言えばそう思う	3,107	29.1%
3	どちらとも言えない	4,642	43.5%
4	どちらかと言えばそう思わない	158	1.5%
5	全くそう思わない	90	0.8%
6	非該当	280	2.6%
	合計	10,664	



Q 1 9 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

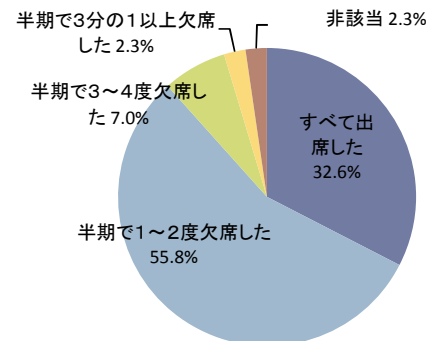
No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,095	38.4%
2	どちらかと言えばそう思う	3,908	36.6%
3	どちらとも言えない	2,046	19.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	306	2.9%
5	全くそう思わない	171	1.6%
6	非該当	138	1.3%
	合計	10,664	



② 大学院

Q 1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	14	32.6%
2	半期で1～2度欠席した	24	55.8%
3	半期で3～4度欠席した	3	7.0%
4	半期で3分の1以上欠席した	1	2.3%
5	非該当	1	2.3%
	合計	43	



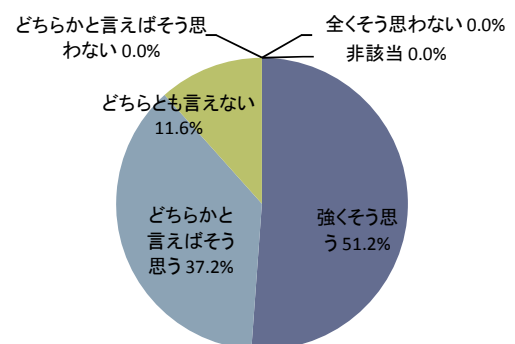
Q 2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	0	
2	週1～2時間	0	
3	週30分～1時間	0	
4	週0分～30分	0	
5	全くしていない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

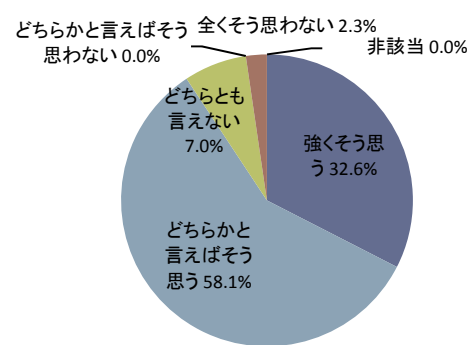
Q 3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	22	51.2%
2	どちらかと言えばそう思う	16	37.2%
3	どちらとも言えない	5	11.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



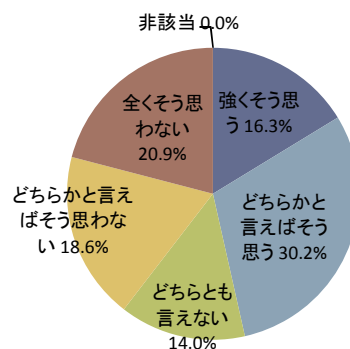
Q 4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	14	32.6%
2	どちらかと言えばそう思う	25	58.1%
3	どちらとも言えない	3	7.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	1	2.3%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



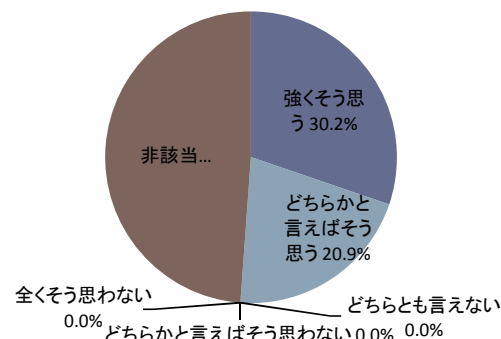
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	7	16.3%
2	どちらかと言えばそう思う	13	30.2%
3	どちらとも言えない	6	14.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	8	18.6%
5	全くそう思わない	9	20.9%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



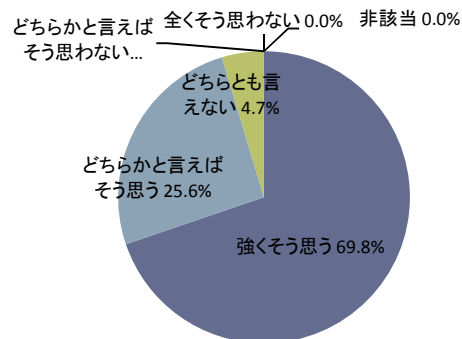
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	13	30.2%
2	どちらかと言えばそう思う	9	20.9%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	21	48.8%
	合計	43	



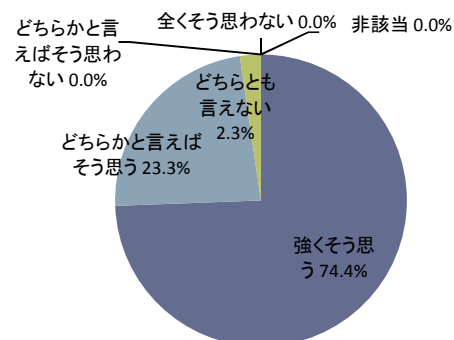
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	30	69.8%
2	どちらかと言えばそう思う	11	25.6%
3	どちらとも言えない	2	4.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



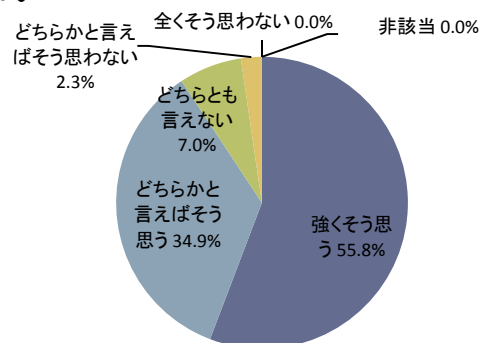
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	32	74.4%
2	どちらかと言えばそう思う	10	23.3%
3	どちらとも言えない	1	2.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	24	55.8%
2	どちらかと言えば思う	15	34.9%
3	どちらとも言えない	3	7.0%
4	どちらかと言えば思わない	1	2.3%
5	全く思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



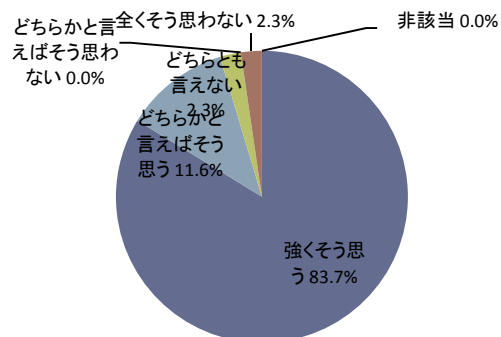
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	0	
2	どちらかと言えば思う	0	
3	どちらとも言えない	0	
4	どちらかと言えば思わない	0	
5	全く思わない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

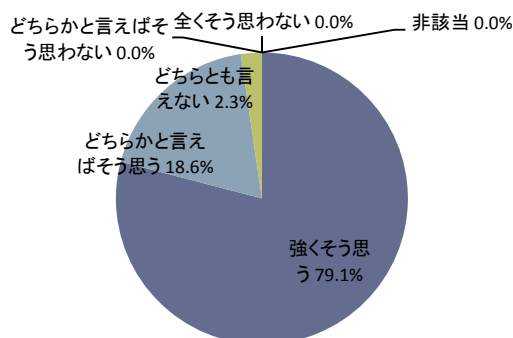
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	36	83.7%
2	どちらかと言えば思う	5	11.6%
3	どちらとも言えない	1	2.3%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	1	2.3%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



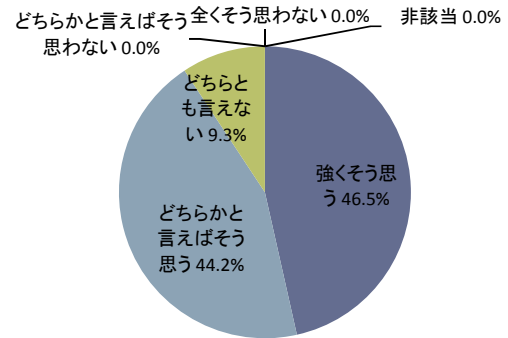
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	34	79.1%
2	どちらかと言えば思う	8	18.6%
3	どちらとも言えない	1	2.3%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



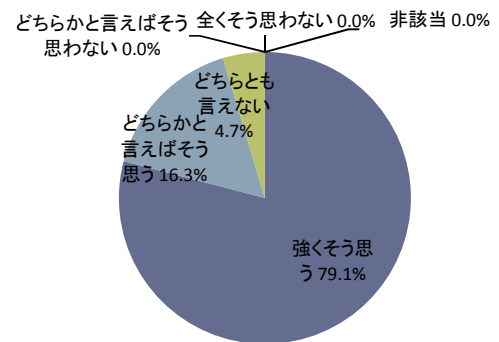
Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	20	46.5%
2	どちらかと言えば思う	19	44.2%
3	どちらとも言えない	4	9.3%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



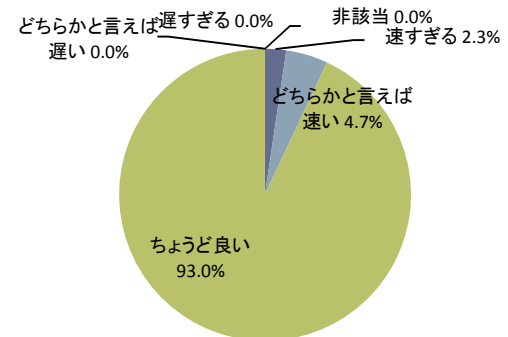
Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	34	79.1%
2	どちらかと言えば思う	7	16.3%
3	どちらとも言えない	2	4.7%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



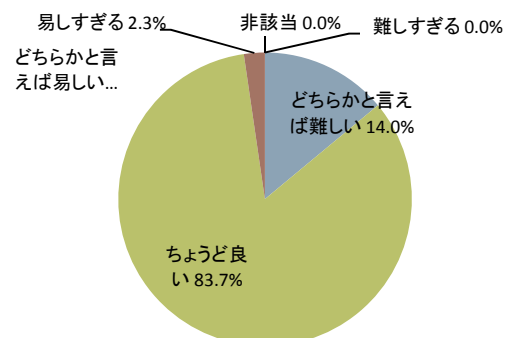
Q14 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	1	2.3%
2	どちらかと言えば速い	2	4.7%
3	ちょうど良い	40	93.0%
4	どちらかと言えば遅い	0	0.0%
5	遅すぎる	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



Q15 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	難しすぎる	0	0.0%
2	どちらかと言えば難しい	6	14.0%
3	ちょうど良い	36	83.7%
4	どちらかと言えば易しい	0	0.0%
5	易しすぎる	1	2.3%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



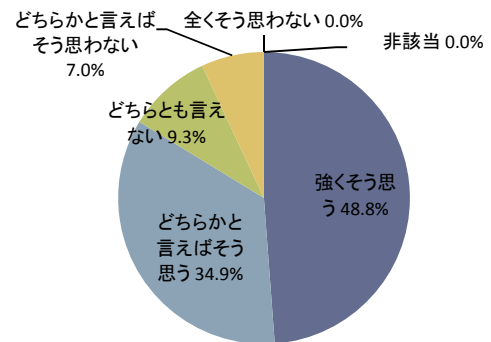
Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	0	
2	どちらかと言えば多い	0	
3	ちょうど良い	0	
4	どちらかと言えば少ない	0	
5	少なすぎる	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

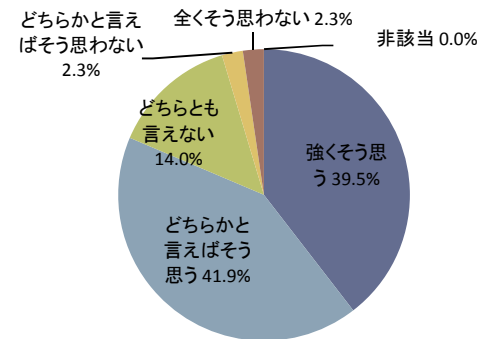
Q17 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	21	48.8%
2	どちらかと言えばそう思う	15	34.9%
3	どちらとも言えない	4	9.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	3	7.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



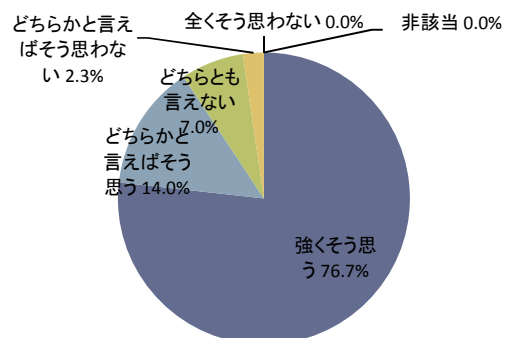
Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	17	39.5%
2	どちらかと言えばそう思う	18	41.9%
3	どちらとも言えない	6	14.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	2.3%
5	全くそう思わない	1	2.3%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	33	76.7%
2	どちらかと言えばそう思う	6	14.0%
3	どちらとも言えない	3	7.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	2.3%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	43	



3. 2016 年度前期「授業改善のための学生アンケート」みなさんの声に応じて

学生の皆さんが回答してくれたアンケート結果は、個人が特定されないように集計された後、自由記述も含めて、担当教員へすべて確実に届いています。この章では、アンケートを通じて届けられたみなさんの声に応じて、授業毎に担当教員からのメッセージをお戻しします。

① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ

情報メディアの活用	今井 福司	2016/月 1/前期
プリントの一部について説明が煩雑であるとのコメント、ありがとうございました。当該箇所については、至急対応致します。また指導案作成については、敢えてグループで作成し他の授業との差別化を図っていますが、教員のサポートの問題もあって、やりにくい箇所もあったかと思います。今後改善を図って参りたいと思います。		

学校経営と学校図書館	今井 福司	2016/月 2/前期
体験的に授業に参加できて良かったとのコメント、ありがとうございます。可能な限り、今後も同じような授業形態が取れるよう工夫して参りたいと思います。		

情報サービス演習Ⅰ	今井 福司	2016/火 4/前期
本授業は演習が中心であったのですが、課題をたくさん出しすぎたのではと反省しています。また、年間授業計画に沿って授業を展開していたのですが、時に場当たりの演習をしてしまったことがありました。大変だったかと思いますが、最後までついてきて下さったことに深く感謝申し上げます。		

図書館情報学概論	今井 福司	2016/火 5/前期
本講義は講義科目ということで、座学が中心となりました。自由記述欄のコメントを拝見していると、黒板の板書が見えづらかったり、プリントの情報量を精選すべきなどの改善点を様々に頂いております。全て改善に役立てたいと思います。また、早くテスト勉強を始めておけば…との声をたくさん頂いておりますので、来年以降の受講生にはさらに早めの段階から準備をするよう促したいと思います。		

情報資源組織演習（分類）	今井 福司	2016／水 3, 4, 5／前期
授業のスピードが速すぎるというコメントの一方、このスピードが良いと仰る受講者の方もいらっしゃる、どうすれば悩むところですが、おそらくはきちんと振り返りの時間を取れば、両方の状況に対応できるかと思しますので、後期以降は取り入れて参りたいと思います。分類は図書館員の専門性を担保する知識でもあります、一方で一種の「権力」でもありますので、その辺りを気をつけて今後の学習を進めて頂ければ幸いです。		

教育学概論	油井原 均	2016／木 2／前期
試験範囲の事前指示でやや戸惑わせてしまったようで反省しています。今後改善します。 板書について、さらにわかりやすく、字の濃さにも配慮したいと思います。		

英語教師のための英文法Ⅰ	一柳 由美子	2016／水 4／前期
■Q5①シラバスを事前にしっかり読んでいるか →どちらとも言えない：3件 →全くそうは思わない：2件 Q12 授業の目的を十分に理解できたか →どちらとも言えない：2件 Q13 授業の内容に興味を持つことができたか →どちらとも言えない：2件 Q19 満足度 →どちらとも言えない：3件 以上の4つの設問に対する解答に納得した。 つまり、自分がどのようなことをこれから学ぶのかをしっかりと知っていて初めてその目的や内容を吸収することができるのだから、予め自分が何をしたいのかを考えて授業を選ぶべきと考える。 ■Q2 学習時間について →週 30 分～1 時間 どの程度本気で教員免許を取りたいのかは学生によってまちまちなので何とも言えない。が、もう少し課題等を与えて、自勉を求める余裕がありそうだったと思った。		

コミュニケーション概論Ⅰ	三宅 ひろ子	2016／木 4／前期
■Q20 の「プリントを毎回印刷しなければならないので、1 度に全ての回のプリントをキャンパススクエアに掲載して頂きたかったです。先生の説明はとても分かりやすかったです。」という意見について 学生の皆さんに毎回プリントをプリントアウトしてもらっていたのは、次の授業で何を学ぶのかを事前に見てもらったためだったのですが、その意義を伝えていなかったことを反省しました。また、プリントの配布方法も見直したいと思います。「分かりやすかつ		

た」とのご意見もありありがとうございました。「より分かりやすい」授業を心がけたいと思います。

ボランティア・キャリア体験Ⅰ／Ⅲ

川中 信

2016／月 4・5／前期

本科目は共通科目の科目(2014 年から名称変更)です。教員組織の都合で本年度は体験先が児童福祉施設 1 か所になりました。施設と教員との事前打ち合わせに基づき、計画的に学生は月曜日（小学生の学習ボランティア含む）と木曜日（中学の学習ボランティアを含む）の週 2 回に分かれて、授業回数にカウントしている土日の行事も一部は分担して取り組みました。

■設問

全般に大変に高い評価をいただきました。授業形態にあわない設問（板書、教科書等）は省略。

- ・ Q1 全員すべての授業に出席し、Q2 全員が主体的に取り組むことができたと「強く思う」。

コメント→ 行事の不確定要素がある集合時間をのぞき、詳細な年間授業計画を年度当初に提示したこと、毎回「遊びボラ」「学習ボランティア」の良かった取り組みや課題について解説し、行事については事前にひとつひとつ意義や取り組み課題を確認したことが、学生がすべての授業に責任もって参加したことにつながり、すべての体験先を毎回巡回できなかった昨年度の授業より改善した点です。

- ・ Q13 全員が「この授業内容に興味を持つことができたと「強く思う」。
- Q14 進度、Q16 履修人数ともに全員が「ちょうど良い」。
- Q19 履修したことに満足しているかについては、全員が「強くそう思う」との回答をいただきました。

コメント→ ご理解いただき、ありがとうございます。

一方、検討課題も残りました。以下 6 つの設問については課題が潜んでいることがうかがえます。

- ・ Q6「教員の話は聞き取りやすかったか」、Q7「説明の仕方はわかりやすかったですか」、Q10「学生の質問や相談に対して適切に対応していたと思いますか」、Q11「説明や指示は行き届いていたと思いますか」、Q12「この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか」、Q15「難易度は適切でしたか」については、「どちらかというとそう思わない」「全くそう思わない」という回答はありませんでしたが、「どちらとも言えない」という回答があるなどばらつきがありました。

施設からのコメント→話の聞き取りやすさ、説明の仕方、授業の到達目標の理解できたか、不明な点があれば、大学生側の報連相や主体的な学び方が不足しているのではないのでしょうか。

コメント→これらの回答に否定的なコメントがないことは一方的な講義より改善した点ですが、上記設問 Q1 と Q2 に対するコメントの取り組みやきめ細かな

現場指導にもかかわらず、まだ不足している点があったのかと驚いてはいます。

「遊びボラ」について学童との集団や屋外での遊び方について、うるさく現場指導するコーチング方法が、学生の楽しさを妨げたのでしょうか。保育は一度くらいしかありませんでしたが、たとえば幼児保育の声かけや遊びの展開、寝かしつけの仕方は興味を持っていただけたのでしょうか。「学習ボランティア」では子どもの持ってくるドリルや図鑑にとどまらず、施設からの依頼事項である「勉強する面白さや習慣を身につける」とは、どういうボランティアの取り組みなのでしょう。こうした課題解決に対する積極性、主体的な取り組みができるようにするため、もう少し意見交換や話し合いを充実させられないか方法を考えていきます。

■自由記述

教員からのコメントは「コメント→」から始まる文です。

Q20.この授業について、良かった点、改善してほしい点、および Q21.この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していること、について自由記述をいただきました。ありがとうございます。

- ・深く考えさせられる授業だった。もっと、授業内容をシラバスにのせてほしい。それが無理なら事前相談の時に説明してほしい。

コメント→授業内容はシラバスに詳細に提示してあります。遊びと学習ボランティア、1 回だけの行事などに至るまで授業回ごとに書いてあります。また主として 2 年度めに履修する学生のためには、自由に体験を計画し、実行、評価するという PDCA サイクルを学ぶための別シラバスもあります。ご確認ください。事前相談は入学式後随時、授業登録締め切りまで約一週間を設けていますのでご活用ください。また授業初回には学内で 3 時間、施設においても 2 回の見学と説明があります。どんな内容を知りたかったか教えていただくと参考になりますので、具体的をお願いします。

- ・子供たちの成長を通して自分自身を成長させることができて良かったです。

施設からコメント→成長や成長できていない点についての具体的な記述がない。記述するスペースが限られていますが、具体性がないと改善できないので課題意識が低いのではと思います。

コメント→この授業は目的として、自分について洞察し、自分の成長を記録して、やりっぱなしにしないため毎回は振り返り考えていく側面を重視しています。したがって、ボランティアが惰性になったりつまらなくなってきたときに、話し合ったり教員に相談できるかどうかで、さらに成長を深められると思います。人生においても先輩や同僚、授業では今からでも、教員や施設職員との報連相の達人になりましょう。

- ・学んだことは、人のこれからの人生のために、どれだけ少しでも手助けできるかを

少しずつ考え、学んでこれたこと。

- 子供との関わりは一筋縄ではいかないこと、試行錯誤する中で、たくさんの発見があることを学びました。

コメント→ 自分が子どもを育てることになったとき、保育士になったとき、この経験が土台の一部になれば幸いです。

ご協力いただきありがとうございました。

② F D 推進委員会からのメッセージ

「授業改善のための学生アンケート」をはじめ、よりよい学びについて考える様々な機会を提供していく役割を担っているのが F D 推進委員会です。F D 推進委員会からは、アンケートそのものの適切性についての設問 (Q23) で寄せられた学生のみなさんの声に応えます。また、アンケート結果からみられる全学的な傾向を踏まえて、みなさんへよりよい学びのためのメッセージをとどけます。

「Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。」に対する回答は、以下のとおりでした。

「はい」	8,501 件	79%
「いいえ」	207 件	2%
「無回答」	1,999 件	20%

「Q23② (Q23①で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述しなさい。」に対して、次のようなコメントが寄せられました。

アンケートについてのコメント 1

ほとんどの授業が校外活動なので、教室の設備等についてきかれて少し困りました。
(1 件)

学外で行われる授業にもかかわらず、アンケートでは教室の設備や板書等についての設問があつて困られたとのこと、似たようなケースでお困りの方もいらっしゃるでしょう。このような場合には、未回答 (マークをしない) ということも許されていますので、各授業担当教員の指示に従ってください。

また、授業形態等によっては回答できない項目がある場合には、その項目のみ未回答でよい旨アンケート実施時に伝えていただけるよう、F D 推進委員会から先生方へあらためて周知するとともに、実施封筒にもそのことを明記しました。

※本学では同じ物差しですべての授業を振り返ることも重要であるとの見解から、全学統一フォームでアンケートを実施しています。

アンケートについてのコメント 2

教員についての設問があるといいと思います。(7 件)

アンケートに用意されている設問以外にも担当教員へ伝えたいことがあるのだと受け止めました。このアンケートは教員評価が目的ではありませんが(※)、授業に係ることであればどのようなことでも大丈夫ですので、「Q20. この授業について、良かった点、改善してほしい点などを、自由に記述してください」という設問の自由記述欄へ意見を記入して下さい。

※実施の目的につきましては、P.1 の「①目的」をご覧ください。

アンケートについてのコメント 3

アンケートが役に立っているのか、改善されているのかわかりません。(5 件)

アンケートによって授業が「よくなった」ことを実感できないというご意見をいただきました。

これはアンケートの実施時期によるところが大きいと思われます。アンケートは原則として期末に行われ、その結果は授業期間終了後一定期間を経てから担当教員へ届けられることになっています。そのため、教員が学生のみなさんの様々な意見を受け止めて授業改善につなげていくのは、次学期もしくは次年度ということになります。アンケートは元々個人が特定できないように作成・集計されていますが、万が一にもアンケート結果が成績評価に影響が及ばないよう、実施・結果返却時期を工夫することでもアンケートの独立性を保つよう配慮がなされています。

しかしながら、せっかく意見を寄せてくださったみなさんの声は大切にしたいという思いから、大学ホームページにて結果報告書（今お読みくださっているこの報告書のことです。）を公表しています。特に、「みなさんの声に応じて」という項目では、授業毎に担当教員がアンケート結果をどのように受け止めたのかについてコメントしていますので、ぜひお読みください。また、授業によっては、前年度もしくは前学期の授業と関連がある場合や担当教員が同じである場合に、教員よりアンケート結果について直接所見が述べられることもあるでしょう。

アンケートが教員にとっても学生のみなさんにとってもその先のよりよい学びにつながるツールとなるよう、またそのことが実感できるよう、FD 推進委員会ではこれからも実りあるアンケートの在り方について検討してまいります。